

テント建てマニュアル

大阪大学大学祭中央実行委員会

用意するものは以下の通り。

- ①脚<3種2本ずつ>
- ②梁(長)<3本>、屋根(斜辺)<6本>
- ③梁(短)<4本>、屋根(てっぺん)<2種3本>
- ④ホ口(屋根に相当する布のこと)、横幕
- ⑤軍手

※:脚の区別について

梁を差し込む穴の数と向きによって区別します。

右のイラストのもの…A

穴が4つあるものが真ん中用…B

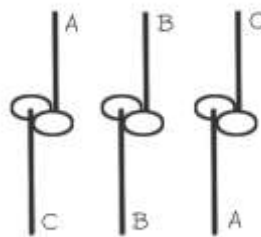
右のイラストと左右が逆のもの…C



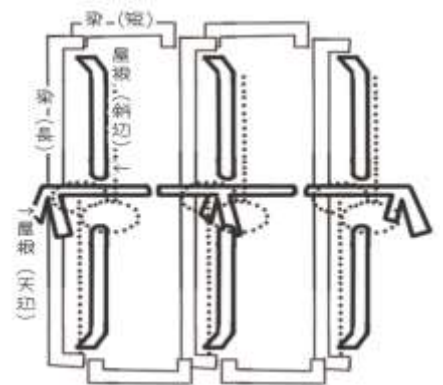
作業は必ず軍手を着用の上行って下さい。

(1)部材の配置

- 1 脚を右図Aのように配置する。
- 2 梁(長)、屋根(斜辺)を、テントの短辺(脚と同じ位置)に配置する。
- 3 梁(短)をテントの長辺に配置し、屋根(てっぺん)をその中間に配置する。
- 4 部材の配置完了。右図Bようになります。



図A



図B

(2)組み立て

- 1 脚の可動部分を立て、右図(脚A)の、**1**に梁(長)を入れる
- 2 **2**に梁(短)を入れる。
(脚Bには**2**が**3**を挟んで二つあり、脚Cでは左右が逆。)
- 3 全ての脚でこの作業が終わった後、屋根を組み立て、**3**に入れる。
これで、テントの枠組みは完成。



(3)ホ口をかける

角を合わせる。外れないように紐を軽く結ぶ。

(4)テントを立てる。

支柱の頭にある穴のうち、横に出っ張っているもの(脚Aでは②にあたる)を、下から片手の手の平で支えながら持ち上げる。

(5)筋交い(梁と脚を繋ぐ部分)を組む。

外れると危険なので、外れないようしっかりとめる。

(6)仕上げ

ホ口の紐を結び、横幕をつける。横幕はテント後ろと側面(他のテントと接していない場合のみ)に取り付ける。

これで完成。